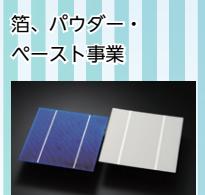


価値創造の軌跡

社会環境の変化に柔軟に対応し、進化を重ねてきた歴史こそが、我々が目指す「異次元の素材メーカー」としての原点です。

今後も、持続可能な事業活動を通じて、人々の暮らしの向上と地球環境の保護に貢献していきます。



2020年代

海外展開(中国、東南
アジア、インド、北米)



売上高
(億円)

7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0



創業・拡大期 (1939年~1970年代)

主力事業

- 国内インフラ需要に支えられて、アルミニウム製錬を基軸に事業を展開。
- アルミニウム電解
- 壓延・押出
- 鋳造
- 二次加工までの一貫体制を確立

組織体制

垂直統合型の組織運営(蒲原製造所に製錬から加工までを集約)。

事業の特徴

民間インフラ・自動車・建材向けにアルミ用途拡大に対応。
原材料から最終製品まで内製化。

多角化・構造転換期 (1980年~2000年代前半)

- 化学品や飲料容器用製品、機能材(電子材料、自動車部品)といった加工製品が拡大。リサイクルによる2次合金事業の展開。
- 化学品(水処理剤、有機合成製品)の多角化
- 電子材料(高純度アルミ、電極箔、メモリーディスク)の拡大
- 自動車向け商品(ホイール、鍛造製品、熱交換器)

各事業分野に専門会社を設立。
グループ経営体制を強化。

国内製錬の後退に対応し、アルミニウム地金生産から加工製品生産へ移行。国内での原料生産から輸入へシフト。
R&Dを強化し、高機能、高付加価値分野へ進出。

持株会社体制 (2012年~現在)

- 事業ポートフォリオがアルミナ・化成品、地金、板、押出製品、加工製品、箔・粉末製品、エンジニアリング、技術サービス、物流、関連事業に分化。

- 高付加価値加工製品
- リサイクルアルミ製品
- 高機能化学品
- CO₂削減対応の技術開発(再エネ、省エネ)

2012年に日本軽金属ホールディングス(株)を設立し、純粋持株会社体制に移行。

- 中国、東南アジア、インド、北米での加工製品の事業展開
- マーケットインを基盤とする事業グループ制導入
- サステナブル経営推進